



### 日高の未来を切り開くハイブリッドホスピタル

2025年(秋) 新・日高徳洲会病院へ

日高徳洲会病院は  
2025年・秋に移転新築へ

新築移転し、

今までにない病院を

当院は、2025年・秋の移転新築を目指して現在計画を進めております。新病院はICT(情報通信技術)を活用して日高管内はもちろん、世界に向けて徳洲会の医療を届けることができるデジタルツイン仕様の病院となる予定です。また、病院には「暗い・怖い・近寄りがたい」というイメージを持たれている方も多々ありますが、当院はそういったイメージを払拭し、医療・福祉・介護に「コミュニティ」を合わせ、地域の方々が気軽に病院を訪れ、交流することができ、地域の寄合所、ランドマークとなるような今までにない、既成の病院像にとらわれない新しい病院を実現します。

あらゆる災害から  
町民を守る

町民を守る

新病院は敷地と建物全体をフル活用し、地震・津波・暴風雨・火災・塩害などのあらゆる災害から患者様だけでなく町民の皆様を守ることができ、病院を目指します。日高地域は蒲河沖の太平洋プレート沈み込みにより大地震が発生することが想定されています。大地震に対応するために建物の耐震性能強化はもちろん、敷地全体を有効活用して災害時にも医療機能を止めることなく、日高地域の人々の生命を守り続けられる病院を計画しています。

様々な災害に対応できる

新病院を



明るい光の降り注ぐ  
ホスピタルギャラリー



町民に寄り添い、

交流の場を創出

1階の外来スペースは光りが降り注ぐ心地よい空間とし、受診時にも気持ちよく過ごしていただけることを最優先に計画しています。また、コミュニティモーターを設けることで、町民の皆様が受診の時以外でも気軽に立ち寄れるような交流の場を創出します。病院を【受診に来る場所】から【集う場所】へ。2025年の移転新築にご期待下さい。